



# 環境みらい

発行所  
NPO法人環境みらい下関  
〒751-0847  
下関市古屋町一丁目18番1号  
電話 (083) 252-7220  
FAX (083) 252-7222  
URL <http://www.kankyo-mirai.jp>

6月号

「里づくり」  
を考えよう



やっぱいいね  
然も笑顔も山口県  
めざそう住み良さ日本一

## 豊かな海は森が育む

### 森林づくりについて

近年、豊かな海は豊かな森が必要と、多くの団体の植林活動が盛んで、海の森として里山の再生が始まった。

海と森をつなぐ全国2万1千本の川から、豊かな森林の広

葉樹の落ち葉が河口付近で多くの生物を育み、森の腐葉土を通して豊富な栄養分が溶け込んでいる川の水が、海水と混じり合って、栄養分を吸収して海草や動・植物プランクトンが発生、魚類がそのプランクトンや海草を食べ、その魚を人間が食べるという資源が循環する持続型の社会を形成する、森と海のつながりの必要性を裏付ける多くの研究事例があります。

海と森とのつながりは川であり、その水によって人と人がつながり、その川の周辺に人間社会の里が形成され、その里に住む人間が、森と海のつながりを森林伐採や都市開発でつぶしてきたもので、自然を破壊したのも人間、再生するのも里に住む我々人間であり、森・里・海のうちに住む我々の考え方や行動が、より重要になってまいりました。

三方を海に囲まれた山口県では、先人が守ってきた美しい里山の風景や、里海・里川の風景と命を守る循環型社会環境の形成を、次世代を担う子供達のために、未来につないでいく活動を続ける施策は、環境問題を克服する上でも重要な指針の一つに違いない、と段々と確信を抱くようになってきています。

「里づくり」は、里山だけでなく、里地、里川、里浜、里海など周りの自然と身近にかかわるさまざまなケースに適用できます。

手入れの行き届いた人間による自然の利用、あるいは、人間の自然へのバランスの取れたかわり方の作法が、自然の生命力を高めることにつながっていきます。

そこで、荒廃した人工林の再生や繁茂した竹林の整備など荒廃森林の再生事業に取り組むための「やまぐち森林づくり県民税」は、県民に自然環境に対しての意識の高揚であり、重要施策であると同時に制度に暖かみを感じています。

しかしながら、全国に広がる整然と植林整備された杉や檜の森林が、真の豊かな森林づくりと言えるだろうか。なぜなら、杉や檜の森では子供達の好きなカブトムシやクワガタムシは育たないし、カブトムシやクワガタムシが育たなければ、海や川の生物も育たないだろう。

山口へ行けば、ケヤキや桜、桐やクヌギ等々、種類が豊富で安価で、木工や家具職人が殺到するような、生産者ではなく消費者主体での、真に豊かな森林づくりを目指すべきではないだろうか。

最も、今となっては100年、200年先の気の遠くなるような先の話ではあるが、森林づくりにはバランスの取れた、自然へのかかわり方の作法が重要になってきます。

NPO法人環境みらい下関

事務局長 藤木幸三

★ 休館日(月曜日)が祭日の場合は開館し、翌日(火曜日)が休館日となります。

## しものせき環境みらい館/ご利用案内

- 開館時間 10:00～17:00まで
- 休館日 月曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)  
年未年始(12月28日から1月5日)
- サンデンバス停「垢田」「稗田中央」より徒歩 約5分  
電話 (083) 252-7220 FAX (083) 252-7222  
<http://www.kankyo-mirai.jp> E-mail [eco@kankyo-mirai.jp](mailto:eco@kankyo-mirai.jp)

